

PRESS RELEASE

報道関係者各位

※2020年10月9日追記更新：以下記載内容に誤りがありましたので、修正を行いました。(該当箇所赤字)

- ・誤：(11行目) 値上がり地点が**減少**、横ばい地点と値下がり地点が**増加**しました。
- ・正：(11行目) 値上がり地点が**増加**、横ばい地点と値下がり地点が**減少**しました。

2020年10月8日
野村不動産アーバンネット株式会社

リリースカテゴリー

都市型コンパクトタウン

都市再生・地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護コース

社会課題

定期報告・レポート

野村不動産アーバンネット実勢調査 第128回

2020年10月1日時点首都圏「住宅地価格」の動向

～エリア平均の変動率は2四半期ぶりのプラス、年間ベースでは2四半期連続のマイナス～

野村不動産アーバンネット株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：前田 研一）は、2020年10月1日時点の「住宅地価格動向」の調査を実施いたしました。この度、調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

【2020年10月1日時点の調査結果】 調査地点数：住宅地168

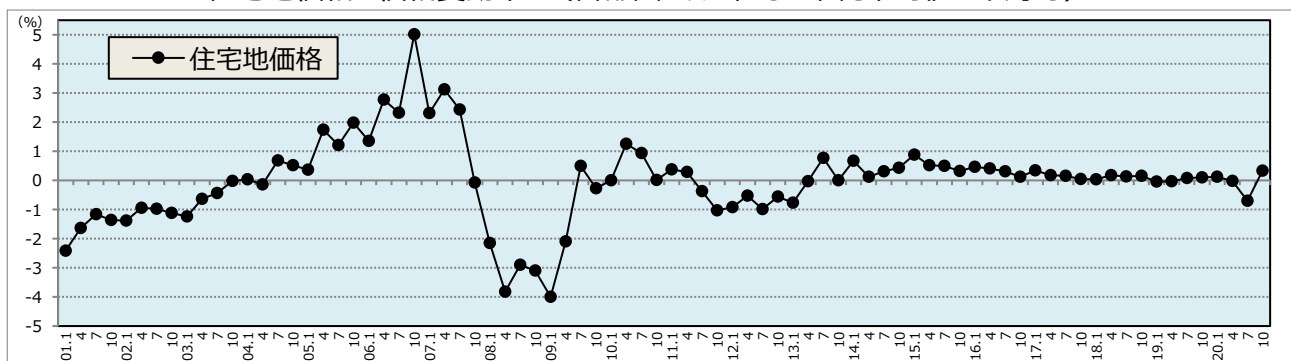
2020年7-9月期の「住宅地価格」は、首都圏エリア平均では0.3%(前回▲0.7%)の変動率となりました。「値上がり」を示した地点が19.6%(前回1.8%)、「横ばい」を示した地点が79.8%(前回72.0%)、「値下がり」を示した地点が0.6%(前回26.2%)となり、値上がり地点と横ばい地点が増加、値下がり地点が減少しました。

年間ベースの「住宅地価格」は、首都圏エリア平均では▲0.3%(前回▲0.5%)の変動率となりました。

「値上がり」を示した地点が16.1%(前回8.9%)、「横ばい」を示した地点が59.5%(前回64.3%)、「値下がり」を示した地点が24.4%(前回26.8%)となり、値上がり地点が**増加**、横ばい地点と値下がり地点が**減少**しました。

コロナ禍での在宅勤務等による新たな需要の高まりから、戸建を中心に売れ行きが好調で前回調査から改善傾向となりました。

住宅地価格の価格変動率（首都圏エリア平均の単純平均値・3ヶ月毎）



あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

住宅地価格変動率の地域平均推移（単位：％）

調査時点	18.10	19.1	19.4	19.7	19.10	20.1	20.4	20.7	20.10	年間変動率
東京都区部	0.3	0.0	▲0.1	0.1	0.1	▲0.0	▲0.0	▲0.4	0.7	0.2
東京都下	▲0.2	0.0	▲0.1	0.3	0.4	0.5	0.1	▲1.9	0.3	▲1.0
神奈川	0.0	▲0.1	0.0	▲0.0	0.0	▲0.4	▲0.1	▲0.4	0.3	▲0.7
埼玉	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.8	0.3	▲0.4
千葉	0.2	▲0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5
首都圏エリア平均	0.2	▲0.0	▲0.0	0.1	0.1	0.1	▲0.0	▲0.7	0.3	▲0.3

【本調査について】

本調査は、1989年7月よりスタートし、「野村の仲介+ (PLUS)」各店舗の営業エリアにおいて、調査地点を選択し、通常取引を想定して実勢価格を査定しております。調査地点は限定されたエリアから抽出したものですので、数値は都県全体の変動率を表すものではありません。また、数値は小数点第二位を四捨五入して表示しております。

調査は3ヶ月毎（1月、4月、7月、10月）に実施し、調査結果は、不動産情報サイト「ノムコム」上で公表しております。<https://www.nomu.com/knowledge/chika/>

※関西圏、名古屋の調査結果につきましても「ノムコム」上で公表しております。

中古マンションについては、弊社が運営する不動産情報サイト「ノムコム」の「マンションデータPlus」にて、個別のマンションごとに推定相場価格や周辺エリアの相場情報を確認いただけますのでご参照ください。

「マンションデータPlus」 <https://www.nomu.com/mansion/library/>

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産アーバンネット株式会社 経営企画室（寺田・大江）

TEL 03-3345-7779・FAX 03-3345-8273

あしたを、つなぐ